

# 平成16～19年度豊橋技術科学大学教育研究活性化経費評価書

外部評価者氏名

研究題目	簡易粒径計測システムの開発とその試用・評価・改良	
研究者	機械システム工学系 准教授 鈴木孝司	
項目	採点	評価(コメント)
研究の独創性	4	計測器の原理そのものは既存のものであるが、それを安価な機材で実現した点に独創性がある。
実用化への可能性	5	多少機能に制約はあるものの、市販のシステムの1/20以下の価格で構成でき、実用化の可能性は充分あると考える。
学問的発展への貢献度	5	噴霧特性は従来高価な測定器で測定するものと思われていたが、このように安価な装置で測定可能となれば、噴霧工学の進展が期待できる。
当初研究計画の達成度	4	当初の計画は充分達成できたものと思われる。ただし、機材の一部に特殊な部品を使用しており、これが汎用品で代用できれば、更に素晴らしいものになると思われる。
高専連携度	5	高専の先生方と連携して開発し、また学会等でも共同で発表しており、高専連携は充分達成されたものと思われる。
総合		従来高価であった噴霧特性測定装置を安価な機材で組み立てており、研究費の少ない、特に若手の研究者に朗報である。今後の実用化を期待する。

※ 1 上記の5項目について、5点満点(0～5点)で採点を行い、それぞれの評価及び総合評価について簡単にコメントを記入願います。